

消費者教育の試行的実施による効果検証のための調査研究

# 大学生を対象とした消費者教育の試行的実施 及び効果検証

平成 23 年 3 月

 株式  
会社 **三菱総合研究所**

## 目 次

1.	大学における消費者教育の試行的実施 .....	1
1.1	実施概要 .....	1
1.2	試行実施結果 .....	7
2.	大学生対象の消費者教育の効果検証 .....	13
2.1	実施概要 .....	13
2.2	調査対象・回答数 .....	15
2.3	調査項目 .....	17
2.4	調査結果 .....	19
3.	参考資料 .....	123

## 1. 大学における消費者教育の試行的実施

### 1.1 実施概要

#### 1.1.1 調査の背景

消費者被害については、20歳代が被害にあいやすいとの調査結果がある。また、全国の消費生活センター等に寄せられる相談を見ると、20歳になると相談件数が急増するという傾向がある。最近の悪質商法等による被害を防止するためには、被害にあった後の対策だけでなく、だまされないための情報、消費生活に関する知識を提供することが必要である。

現在も、多くの大学等で学内でのポスター掲示や入学時のガイダンスなどの消費者問題に関する取組が実施されているが、学外の機関等と連携した指導は少なく、また、その効果の検証はほとんど行なわれていないのが実情である。

このため、大学等において、学生に対して正規の講義やセミナー等での消費者教育及び広報物の配布・掲示による啓発を試行的に実施し、消費者問題に関する知識、消費生活に関する意識等の変化を分析し、その効果を検証する。

#### 1.1.2 試行実施概要

##### (1) 試行実施内容

大学における消費者啓発の試行として、全国6箇所の大学（内1箇所は大学連携センター）において「A：授業・セミナー等による消費者教育の試行」と、「B：チラシ・ポスター等による消費者啓発の試行」の2種類の取組を実施した。

具体的には、「A：授業・セミナー等による消費者教育の試行」として、正規の授業や自由参加のセミナー等の講義時間を設け、地域の消費生活センターの相談員等による消費者教育の講義を実施した。試行の効果測定のために、消費者教育講義の「実施前」、「実施直後」、また、「実施から1～2ヶ月後」に記入式アンケート調査（内、桜美林大学についてはWEBサイトによるアンケート調査）を実施した。

「B：チラシ・ポスター等による消費者啓発の試行」としては、大学内において消費者啓発のポスターの掲示や、リーフレット、チラシ等の設置を行い、掲示・設置から約2ヶ月後に大学内における記入式のアンケート調査を実施した。また、試行の実施対象とした6箇所の大学の効果検証を行うために、試行を実施していない全国15大学において記入式のアンケート調査を実施した。

##### A：正規授業・セミナー等による消費者教育の試行

**A-1：正規授業：**単位の対象となる正規の授業の1時限において、消費生活センターの相談員等による消費者教育の講義を60分程度実施した。

**A-2：セミナー等：**自由参加型のセミナー等を学内で開催し、消費生活センターの相談員等による消費者教育の講義や、消費者啓発クイズ等の催しを実施した。

##### B：チラシ・ポスター等による消費者啓発の試行

**B-1：チラシ・リーフレット：**国民生活センター、全国消費生活相談員協会等が発

行する消費者啓発媒体（チラシ、リーフレット）を学内に設置した。

B-2：ポスター：大阪市消費者センターが発行する消費者啓発ポスターを、大学内に設置した。

B-3：その他の啓発媒体：大学内における電子掲示板への啓発物の配信や液晶ディスプレイによる消費者啓発DVDの上映等を実施した。

## (2) 試行実施大学

試行実施大学については、地域、大学規模、設置者（国立、公立、私立）等を考慮して選定した。

表 1-1 実施大学

地域	実施大学名	設置者
東北地方 (宮城県仙台市)	東北大学	国立大学
関東地方 (東京都町田市)	桜美林大学	私立大学
関東地方 (神奈川県横浜市)	横浜市立大学	公立大学
東海地方 (岐阜県岐阜市)	岐阜女子大学	私立大学
近畿地方 (兵庫県神戸市)	ポーアイ4大学連携推進センター (神戸学院大学、神戸女子大、神戸医療大学、神戸女子短期大学)	私立大学
九州地方 (熊本県熊本市)	熊本大学	国立大学

## (3) 試行実施期間

2010年10月から12月の間に「A：授業・セミナー等による消費者教育の試行・効果検証」及び「B：チラシ・ポスター等による消費者啓発の試行・効果検証」を実施した。また、非試行大学における調査について2010年12月に実施した。

- ① A：正規授業・セミナー等による消費者教育の試行・効果検証  
2010年10月～12月
- ② B：チラシ・ポスター等による消費者啓発の試行・効果検証  
2010年10月～12月
- ③ 非試行大学における調査  
2010年12月

### 1.1.3 試行実施日程

#### (1) 授業・セミナー等による試行

試行実施対象の6大学において正規授業やセミナー等において消費者教育の講義を下記の日程で実施した。

表 1-2 東北大学における消費者教育の試行実施状況

試行区分	授業名／受講者数／日時／場所／講師等
正規授業	授業名： ライフ・キャリアデザイン 実施日時： 10月12日(火)5限(16:20~17:50) 場 所： 東北大学川内北キャンパスB棟101教室 担当教職員： 東北大学 高等教育開発推進センター 講師 担当講師： 東京都消費生活総合センター 相談員 受講者数： 66名
セミナー	セミナー名： 消費者セミナー 実施日時： 11月24日(水)5限(16:30~18:00) 場 所： 東北大学川内北キャンパスA棟105教室 担当教職員： 東北大学 教育・学生支援部 担当講師： 日本弁護士連合会 弁護士 金融広報中央委員会 受講者数： 4名

表 1-3 桜美林大学における消費者教育の試行実施状況

試行区分	授業名／受講者数／日時／場所／講師等
正規授業	授業名： 広告戦略論 実施日時： 10月14日(木)2限(10:40~12:10) 場 所： 桜美林大学町田キャンパス待望館904教室 担当教職員： 桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 教授 担当講師： 東京都消費生活総合センター 相談員 受講者数： 142名
	授業名： 消費者法 実施日時： 10月15日(金)3限(12:50~14:20) 場 所： 桜美林大学町田キャンパス待望館907教室 担当教職員： 桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 准教授 担当講師： 東京都消費生活総合センター 相談員 受講者数： 175名
	授業名： 現代コミュニケーション論 実施日時： 10月15日(金)2限(10:40~12:10) 場 所： 桜美林大学町田キャンパス太平館A200教室 担当教職員： 桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授 担当講師： 東京都消費生活総合センター 相談員 受講者数： 195名
セミナー	セミナー名： 消費者フェスタ 実施日時： 10月13日(水)5限(16:30~18:00) 場 所： 桜美林大学町田キャンパス太平館A200教室 担当教職員： 桜美林大学消費生活共同組合 担当講師： 東京都消費生活総合センター 相談員 受講者数： 43名

表 1-4 横浜市立大学における消費者教育の試行実施状況

試行区分	授業名／受講者数／日時／場所／講師等
正規授業	授業名： 教養ゼミ B (科学技術の創成) 実施日時： 10月12日(火) 2限(10:30~12:00) 場所： 横浜市立大学金沢八景キャンパス本校舎2階205教室 担当教職員： 横浜市立大学 国際総合科学部 教授 担当講師： 横浜市消費生活総合センター 相談員 受講者数： 34名
	セミナー名： 教養ゼミ B (暮らしの中の法) 実施日時： 10月14日(木) 2限(10:30~12:00) 場所： 横浜市立大学金沢八景キャンパス本校舎1階107教室 担当教職員： 横浜市立大学 国際総合科学部 教授 横浜市立大学 国際総合科学部 准教授 担当講師： 横浜市消費生活総合センター 相談員 受講者数： 40名

表 1-5 岐阜女子大学における消費者教育の試行実施状況

試行区分	授業名／受講者数／日時／場所／講師等
正規授業	授業名： 自己創造 I 実施日時： 10月18日(月) 4限(14:50~16:20) 場所： 岐阜女子大学1号館01315教室 担当教職員： 岐阜女子大学 理事長 担当講師： 岐阜市消費生活センター 相談員 受講者数： 122名
	セミナー名： 自己探求 II 実施日時： 10月19日(火) 1限(9:20~10:50) 場所： 岐阜女子大学1号館01315教室 担当教職員： 岐阜女子大学 文化創造学部 准教授 担当講師： 岐阜市消費生活センター 相談員 受講者数： 171名

表 1-6 ポーアイ4大学連携推進センターにおける消費者教育の試行実施状況

試行区分	授業名／受講者数／日時／場所／講師等
正規授業	授業名： 開発教育学 実施日時： 10月29日(金) 2限(10:45~12:15) 場所： 神戸学院大学B号館B102講義室 担当教職員： 神戸学院大学 人文学部 教授 担当講師： 東京都消費生活総合センター 相談員 受講者数： 20名
	授業名： 防災・防犯指導論実習 実施日時： 11月11日(木) 5限(16:45~18:15) 場所： 神戸学院大学B号館B102講義室 B109講義室 担当教職員： 神戸学院大学 学際教育機構 教授 担当講師： 神戸市消費生活マスター 受講者数： 38名
セミナー	セミナー名： 消費者力を高めよう！ 実施日時： 11月20日(土) 10:00~15:00 場所： 神戸女子短期大学B館403教室 担当教職員： コーディネーター 担当講師： 消費者関連専門家会議 受講者数： 29名

表 1-7 熊本大学における消費者教育の試行実施状況

試行区分	授業名／日時／場所／講師等／受講者数
正規授業	授業名： 女性と職業 ※2回の授業に分けて実施。 実施日時： 10月21日(木)4限(14:30～16:00) 10月28日(木)4限(14:30～16:00) 場所： 熊本大学黒髪キャンパス全学教育棟 E205 教室 担当教職員： 熊本大学 教育学部 准教授 担当講師： 消費者教育 NPO 法人お金の学校くまもと 熊本大学 教育学部 准教授 受講者数： 79名

(2) チラシ・ポスター等による試行

試行実施対象の6大学において、以下のチラシ・ポスター等を用いて消費者啓発の試行を実施した。

表 1-8 消費者啓発の試行に用いたチラシ・ポスター等

種別	媒体名
1. 大阪市消費者センター発行 ポスター (B2 版)	① ウまい話に気をつけて！ ポスターは、大阪市消費者センターの許諾を得て、ポスター下部の相談窓口として消費者ホットラインを記載して作成、設置した。
2. 全国相談員協会発行 チラシ (A4 版両面)	② 悪質商法あれこれ ③ トラブルあれこれ
3. 国民生活センター発行 リーフレット (A4 版 4P)	④ 知ってる？クーリング・オフ ⑤ うちのとなりはトラブルだらけ！？
4. 文部科学省発行 リーフレット (A5 版 8P)	⑥ ちょっと待って、ケータイ
5. その他の啓発媒体	⑦ WEB サイト ⑧ 電子掲示板 ⑨ DVD「悪質商法ネタばらし」(東京都)

各啓発媒体を用いて、各実施大学において下記の日程で啓発媒体を掲示、配布した。

表 1-9 チラシ・ポスター等による消費者啓発の試行実施日程

実施大学	掲示・配布した媒体種別 (記号は「表 1-8」参照)		試行実施日程
東北大学	ポスター	①	10月中旬～12月末日
	チラシ・リーフレット	②、③、④、⑤、⑥	10月中旬～12月末日
	WEBサイト	⑦	11月～12月末日
桜美林大学	ポスター	①	10月中旬～12月末日
	チラシ・リーフレット	②、③、④、⑤、⑥	10月中旬～12月末日
	DVD	⑨	11月～12月末日
横浜市立大学	ポスター	①	10月中旬～12月末日
	チラシ・リーフレット	②、③、④、⑤、⑥	10月中旬～12月末日
岐阜女子大学	ポスター	①	10月中旬～12月末日
	チラシ・リーフレット	②、③、④、⑤、⑥	10月中旬～12月末日
	WEBサイト	⑦	11月～12月末日
	電子掲示板	⑧	11月～12月末日
ポーアイ4大学 連携推進センター	ポスター	①	10月中旬～12月末日
	チラシ・リーフレット	②、③、④、⑤、⑥	10月中旬～12月末日
	WEBサイト	⑦	11月～12月末日
熊本大学	ポスター	①	10月中旬～12月末日
	チラシ・リーフレット	②、③、④、⑤、⑥	10月中旬～12月末日

## 1.2 試行実施結果

### (1) 授業・セミナー等による試行実施日程

各試行実施大学において、授業・セミナー等を表 1-2～表 1-7 (3 ページ～5 ページ) の日時、場所にて実施した。

### (2) 授業・セミナー等による試行実施担当者・講師

各試行実施大学の授業・セミナー等において、各講義の担当教員の協力を得て、地域の消費生活センター相談員、啓発員等を消費者啓発講義の講師として実施した。

### (3) 正規授業による試行のプログラム

各大学において実施した正規授業による消費者教育の講義プログラムを以下に示す。

表 1-10 正規授業による消費者教育の試行のプログラム  
(東北大学、岐阜女子大学、ポーアイ4大学連携推進センター、熊本大学)

時間配分		概要	担当
90分	5分	挨拶	担当教員及び 三菱総合研究所
	70分	消費者啓発講座	担当講師
	15分	アンケート実施	三菱総合研究所

※講義実施の1週間前に「講義受講前アンケート」を実施した。

表 1-11 正規授業による消費者教育の試行のプログラム  
(桜美林大学、横浜市立大学)

時間配分		概要	担当
90分	5分	挨拶	担当教員及び 三菱総合研究所
	15分	アンケート実施	三菱総合研究所
	60分	消費者啓発講座	担当講師
	10分	アンケート実施	三菱総合研究所

#### (4) 正規授業による試行の進め方及び教材

正規授業による消費者教育の試行については、下記に示す試行の進め方に対応した試行実施大学共通の教材を作成した。試行の実施に際しては、担当講師が共通資料について個別に修正を行なった上で講義を実施した。

表 1-12 正規授業による消費者教育の試行の進め方（例）

時間配分 (60分)		講義内容	ねらい・アンケート項目との 対応等
導入	①導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の実害事例と、その報道例を紹介する。</li> <li>講義の目的、ねらいを示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学生において被害が増えている事を実感させ、身近な問題であることに気づかせる。</li> </ul>
展開	②契約とクーリング・オフ制度 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>クイズ1～3を出題し、回答を解説する。</li> <li>契約成立の考え方とクーリングオフの概要について説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約が口頭でも成立すること等、契約の意味について理解させる。</li> <li>被害にあった際にクーリングオフができるように、クーリングオフのルールと仕組みを理解させる。</li> </ul>
	③クレジットと金利 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>クイズ4～6を出題し、回答を解説する。</li> <li>クレジットと金利の関係について説明し、多重債務の問題について注意喚起する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金利の考え方を知り、クレジットの仕組みを理解する。</li> <li>消費者金融の金利の高さを理解させる。</li> <li>多重債務について示し、お金を借りる必要性を考える姿勢を身につける。</li> </ul>
まとめ	④消費者被害の予防と対策 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>クイズ4～6を出題し、回答を解説する。</li> <li>クレジットと金利の関係について説明し、多重債務の問題について注意喚起する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金利の考え方を知り、クレジットの仕組みを理解する。</li> <li>消費者金融の金利の高さを理解させる。</li> <li>多重債務について示し、お金を借りる必要性を考える姿勢を身につける。</li> </ul>

## (5) セミナー等による試行のプログラム

各大学におけるセミナー等による消費者教育の試行のプログラムを以下に示す。

- ・ 桜美林大学「消費者フェスタ」(2010年10月13日)

桜美林大学生協及び生協学生委員が企画及び運営を実施した。寸劇(キャッチセールス)及び消費者クイズの実施内容については、学生委員が作成した資料により、事前に東京都消費生活総合センター相談員が確認した。

消費者啓発講座については、正規授業におけるプログラムに沿って実施した。また、本セミナーは自由参加のセミナーとして実施し、学生委員による学内の授業における告知媒体の配布、垂幕の掲示等の広報活動により受講者を募集した。

表 1-13 「消費者フェスタ」プログラム

時間 (110分)	議事	担当
10分	主旨説明	桜美林大学
25分	寸劇(キャッチセールス)	桜美林大学生協学生委員
15分	消費者クイズ	桜美林大学生協学生委員
40分	消費者啓発講座	東京都消費生活総合センター相談員
5分	アンケート調査実施	三菱総合研究所
10分	クイズ結果発表	桜美林大学生協学生委員
	クイズ優秀者に賞品贈呈	桜美林大学生協
5分	閉会の辞	桜美林大学生協学生委員

- ・ ポーアイ4大学連携推進センター「消費者力を高めよう！」(2010年11月20日)

ポーアイ4大学連携推進センターが、企画・運営を実施し、講義内容及び担当講師については連携をしている神戸市からの推薦に基づき選定した。

本セミナーは、ポーアイ4大学連携推進センターの神戸女子短期大学における大学際開催機関中に実施し、大学祭来場者を対象として、受講者を募集した。

表 1-14 「消費者力を高めよう！」プログラム

時間 (70分)	議事	担当
5分	主旨説明	ポーアイ4大連携推進センター
20分	テレビショッピングなぜ、 どうして、どうやって	消費者関連専門家会議(ACAP)
30分	安心購入ネットショッピング	消費者関連専門家会議(ACAP)
15分	アンケート調査実施	三菱総合研究所

- ・ 東北大学「消費者セミナー」(2010年11月24日)

東北大学学務・教務課及び三菱総合研究所が共同で企画・運営を実施した。講義内容及び担当講師については、三菱総合研究所が選定を行った。また、本セミナーは自由参加のセミナーとして実施し、東北大学学務・教務課が学内授業における広報媒体の配布、学生団体への個別告知、学内 WEB サイトへの開催告知の掲載等の広報を実施し、受講者を募集した。

表 1-15 「消費者セミナー」プログラム

時間 (100分)	議事	担当
5分	主旨説明	文部科学省
40分	契約及び悪質商法について	日本弁護士連合会弁護士
40分	大学生の金融教育入門	金融広報中央委員会事務局
15分	アンケート調査実施	三菱総合研究所

### (6) チラシ・ポスター等による試行

試行実施大学内において、チラシ・ポスター等による消費者啓発の試行を実施した。各大学の配布結果について以下に示す。

表 1-16 チラシ・ポスター等による消費者啓発の試行

	②悪質商法あれこれ		③トラブルあれこれ		④知ってる？クレーリング・オフ		⑤うちのとなりはトラブルだらけ!?		⑥ちょっと待って、ケータイ		配布率 (配布数／設置数)
	配布数	設置数	配布数	設置数	配布数	設置数	配布数	設置数	配布数	設置数	
東北大学	2枚	30枚	8枚	30枚	1枚	30枚	4枚	30枚	80枚	100枚	43%
桜美林大学	30枚	30枚	30枚	30枚	30枚	30枚	30枚	30枚	100枚	100枚	100%
横浜市立大学	3枚	30枚	3枚	30枚	4枚	30枚	3枚	30枚	2枚	100枚	7%
岐阜女子大学	1枚	30枚	3枚	30枚	3枚	30枚	0枚	30枚	3枚	100枚	5%
ボーアイ4大学 連携推進センター	4枚	30枚	16枚	30枚	8枚	30枚	2枚	30枚	67枚	100枚	44%
熊本大学	105枚	120枚	110枚	120枚	108枚	120枚	110枚	120枚	100枚	120枚	89%
合計	145枚	270枚	170枚	270枚	154枚	270枚	149枚	270枚	352枚	620枚	57%
配布率 (配布数／設置率)	54%		63%		57%		55%		57%		

設置した啓発媒体を実際に学生が取得した割合は全体で 57%であった。啓発媒体別に見た場合には媒体間で大きな配布率の差はないが、「トラブルあれこれ」が最も配布率が高く 63%であった。

また、各大学のチラシ・ポスター等の設置場所は、下記の通りであった。

表 1-17 チラシ・ポスター等の設置場所

		設置場所
東北大学		学生支援課前 キャリア支援センター前
桜美林大学		各建物 ラウンジの掲示板 生協店舗 トレーニングセンター横 学生掲示板 明々館 各階廊下掲示板
横浜市立大学		学生ラウンジ 生協食堂前
岐阜女子大学		1号館1階 配布物設置スペース
ポーアイ4大学 連携推進センター	神戸学院大学	A号館 掲示場所
		B号館2階 連携センター前掲示板
		B号館ドーム下 掲示板
		B号館コミュニティストア前 掲示板
		B号館B109講義室前 掲示スペース
	C号館 掲示板	
	兵庫医療大学	健康・生活支援ステーション
	神戸女子大学	センターホール 4大学連携用掲示板
熊本大学		全学教育棟学生ロビー 各学部学生ロビー